



# 高次脳機能障害家族交流会が開催されました



平成29年9月8日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族の方、支援者の方に参加いただき、日頃の苦労や悩みを話し、共有していくことができるような場となっております。

交流会に参加することで、他の参加者の体験談を聞きながら、時にはミニ講座で勉強しながら、つながりを深めていただき、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度に入り、第2回目の交流会が開催され、11名の方が参加してくださいました。今回の家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチーム七夕の代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、本人・ご家族の様子や思い、当事者・支援者が現在感じている問題などをテーマに、それぞれ違った立場で自由に話していただき参加者で共有しました！

## ★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

家族が「本人の状態が戻る」ということは、高次脳機能障害を発症する前の状態に戻る事を期待してしまう。体は普通なので回復してできる事が多くなってきても、次々欲が出てきてしまうため行き詰まる。そのため、どこかで、気持ちの切り替えが必要になってくる。その作業ができないままだと家族支援も苦しくなってしまう。家族も疲れが出てくるので癒やされる場が必要だと思います。癒やされる場所の1つとして、この家族交流会を是非利用して下さい。



御本人・御家族双方の立場で考えさせられる良い機会でした。御本人に注目しがちとなるが、その本人を支えている家族がいることを念頭に置いて理解してあげられる人でありたい。



外出の良い機会になった。

勉強になりました。  
自分の話を聞いてくれて満足  
しました。

## これまでの参加者の声

次回の交流会でも、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班  
TEL：0229-87-8011（直通）